

CONTENTS

はじめに 3

第一章

ももたん、子ども時代

はじめまして	12
自信のない幼少期	19
優等生になろうとしていた小学生時代	25
友人関係作りが苦手な小中時代	32
くはじめ・いじめられ・そして孤立	

第二章

ももたん、保健室の先生になってわかったこと

なぜ、保健室の先生になったの？ ↳ 縁の下の力持ち

調べて・学んで・理解して ↳ 子どもとの接し方の正解を求めてた？

バレエ部顧問と保健室の先生の両立 ↳ 厳しさと温かさをどう伝えるか

共感力・直感・勘・信じる力 ↳ 感じることの大切さ

40 46 52 59

第三章

保健室のママ先生からみた子ども理解

成長段階による子どもの不安定さ

子どもの反抗期をどう捉える

子どもとの向き合い方

68 74 80

十人十色と言うけれど
.....

87

第四章

四人の子のママの経験からの

忘れ物大魔王でもなんの問題もない
→失敗を肯定しよう
.....

子どものやる気を起こさせる方法は？
心をどう刺激する？
揺さぶる？
.....

親が信じてくれていると子どもは踏ん張れる!!
.....

子どもへ手をかけるより大切なことがある
.....

117 110 103 96

子どもってどんな存在かな

子どもは保護しなければならないのか

親としての勘を信じよう

子どもは親を裏切らない

赤ちゃんも子どもも大人も先生もみんな一緒、横並びだよ

126 132 139 145

おわりに

151